

歴史的仮名遣い・部首

中学校

(1) 次は故事成語「鶏口牛後」の由来となった話とその現代語訳です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

話	現代語訳
<p>戦はずして地すでに削られん。臣聞く、ことわざにはく、「むしろ鶏口となるとも牛後<small>ぎゆうこう</small>となるなかれ」と。今西面<small>せいめん</small>してひぢを交えて秦<small>しん</small>に臣事せば、なんぞ牛後に異ならんや。それ、大王の賢<small>けん</small>をもつて韓<small>かん</small>の兵をはさみて、しかも牛後の名あるは、臣ひそかに大王のためにこれを羞<small>は</small>ず。</p>	<p>これでは戦わずして地を削られることになりま す。わたしが聞いたことわざに、「たとえ鶏口とな るも牛後となるなかれ」というものがございま す。いま西に顔を向け、もみ手をして秦に仕える ことは牛の尻<small>しり</small>になることと同じです。王の賢明<small>けんめい</small> さをもって、韓の強兵<small>きやうへい</small>を擁<small>よう</small>しながら牛後の汚名<small>おめい</small> をこうむることは、わたくしが大王様のために 密<small>ひそ</small>かに恥<small>は</small>じるところでございます。</p>

- ① 線部「ひぢ」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- ② 線部「むしろ」の意味を現代語訳から抜き出しなさい。

①	②
---	---

(2) 次の 内の三つの漢字と同じ部首に属する漢字を、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

持 打 折

- 1 時
- 2 撃
- 3 果
- 4 棒

歴史的仮名遣い・部首

解答

(1) 次は故事成語「鶏口牛後」の由来となった話とその現代語訳です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

話	現代語訳
<p>戦はずして地すでに削られん。臣<small>しん</small>聞<small>き</small>く、ことわざにいはいく、「むしろ<small>けいこう</small>鶏口<small>せいめん</small>となるとも牛後<small>ぎふこう</small>となるなかれ」と。今西面<small>せいめん</small>してひぢ<small>しんじ</small>を交えて秦<small>しん</small>に臣事<small>しんじ</small>せば、なんぞ牛後に異<small>かん</small>ならんや。それ、大王の賢<small>けん</small>をもつて韓<small>かん</small>の兵をはさみて、しかも牛後の名あるは、臣<small>しん</small>ひそかに大王のためにこれを羞<small>は</small>ず。</p>	<p>これでは戦わずして地を削られることになりま す。わたしが聞いたことわざに、「たとえ鶏口とな るも牛後となるなかれ」というものがございま す。いま西に顔を向け、もみ手をして秦に仕える ことは牛の尻<small>しり</small>になることと同じです。王の賢明<small>けんめい</small> さをもって、韓の強兵<small>きやうへい</small>を擁<small>よう</small>しながら牛後の汚名<small>おみい</small> をこうむることは、わたくしが大王様のために 密<small>ひそ</small>かに恥<small>は</small>じるところでございませう。</p>

- ① — 線部「ひぢ」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- ② 〓 線部「むしろ」の意味を現代語訳から抜き出しなさい。

① ひぢ	② たとえ
------	-------

(2) 次の 内の三つの漢字と同じ部首に属する漢字を、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

持 打 折

- 1 時
- 2 撃
- 3 果
- 4 棒

2